



令和5年度 諫早市立小野中学校 学校便り 第12号

【小野中HP】



わかばと



校訓：自主・積極

令和6年1月18日

学校教育目標：志を立て、共に高め合う生徒の育成

校長 西山 敏明

3学期が始まりました。本年度のまとめと次のステージへの準備を

この冬休み、地域や保護者の見守り、生徒自身の心がけのお陰で、小野中では大きな事故や問題もなく無事に3学期を迎えることができました。しかし、新年早々に能登半島を中心とした地震災害が発生し甚大な被害が広がっています。始業式では、最初に全校生徒と職員で黙とうし、亡くなられた方へのご冥福をお祈りするとともに、被害を受けられている方々へのお見舞いと一日でも早く安心できる日常への復興を願い、3学期の学校生活をスタートしました。

【3年生】にとっては、進路選択というハードルを越えなければならないまさに正念場の学期です。「受験は団体戦」これまで中学校3年間で培ってきた力を結集し、将来の夢への第一歩となる受験を乗り切ってほしいと願います。

【2年生】には3年生の後を引き継ぐ大きな使命があります。これまで3年生が見せてくれた団結力や行動力、学習・諸活動への真剣な姿勢など、それを見習い、そして超えることができるよう、この3学期は次年度に向けていいスタートを切るための準備期間としてほしいです。

【1年生】は、小学生から中学生になり大きく変わった環境の中で、自分や周囲の仲間がどのように変わり成長したかを振り返ってほしいと思います。自分たちの課題を互いに意見を交わしながら解決、活動していく、自他を大切にす学年集団であってほしいと思います。

始業式での各代表3学期の決意！

各学年と生徒会の代表生徒が3学期の抱負を力強く述べました。一部抜粋して紹介します。

【1年生代表】

3学期に頑張りたいことを3つ発表します。1つ目は学習です。やるべき学習に集中して取り組んだあとに自分の時間をつくりたいです。2つ目に部活動のサッカーです。2年生になるまでに試合等で点を決めること、そのために体力をつけられるようにしたいです。3つ目は学校生活についてです。総務委員として皆の手本になれるよう、日頃から整理整頓に心がけ、仲間たちと楽しく、授業や休み時間を充実させ、入学してくる新入生に小野中の良い雰囲気伝えられるよう頑張ります。

【2年生代表】

目標を3つ立てました。1つ目は、生徒会副会長としてアルミ缶回収を活性化するためにアルミ缶回収のスタンプラリーを実行することです。2つ目は、礼儀正しい生活を送ることです。あいさつや言葉遣いを相手の立場に立って行い、時間を守って行動していきます。3つ目は、学習面です。毎日の自学の内容を充実させること、授業に意欲的に取り組むことが大切です。3学期は「次のステージ・学年」へとつながる意義のある学期です。学年が一丸となりいい3年生になれるよう頑張らしましょう。

【3年生代表】

私たち3年生にとって3学期は高校入試という大きな壁が立ちはだかっています。大事な学期を充実させるために2つの目標を立てました。1つ目は、積極的に学習に取り組むことです。これまで以上に質にこだわり、学級、学年一丸となって高校受験に向けた良い雰囲気をつくっていきましょう。2つ目は、限られた時間を有効に活用することです。「受験生である」ことを自覚し、ちょっとした隙間時間も惜しんで有意義に過ごしていきたいです。「費（さい）は投げられました。」時間や仲間を大切に1日1日を無駄にせず過ごしましょう。

【生徒会代表】

いよいよ1年を締めくくる学期になりました。新生徒会が始動します。今年の目標について2つ話します。1つ目に挨拶運動についてです。まず生徒会役員で大きく元気な声で挨拶することを徹底し、それを全校に広げていきます。2つ目にアルミ缶回収についてです。2学期は回収できた本数が少なかったため、生徒会でアルミ缶が多く集まる工夫を考えて実行していきます。12月の生徒会役員選挙で選ばれた人たちや専門委員長、副委員長が中心となり、小野中生徒全員でより良い小野中学校をつくっていきましょう。

令和5年度 第2回「学校評価アンケート」結果をお伝えします。

回答数 教員:16 生徒:109 保護者:79 ※目標値3.2(80%)以上

評価項目	番号	評価内容	職員			生徒			保護者		
			R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	
			2回	1回	2回	2回	1回	2回	2回	1回	2回
地域とのかわりについて	1	地域でのあいさつ	3.2	3.1	3.2	3.4	3.4	3.5	3.1	2.9	2.9
	2	地域行事への参加	3.4	3.3	3.2	3.0	2.7	2.9	2.9	2.8	2.9
	3	地域への関心	3.6	3.2	3.2	3.1	2.7	2.8	2.9	2.4	2.7
	4	学校だより等での情報発信	3.4	3.8	3.5	3.5	3.4	3.4	3.2	3.3	3.3
	5	職員の地域活動等への参加	3.2	3.1	3.1				3.3	3.2	3.2
	6	職員の地域との関り	3.4	3.4	3.1						
生き方の学習について	7	進路指導、進学指導への取組	3.4	3.5	3.3	3.4	3.3	3.3	3.1	3.2	3.4
	8	将来に関わる講話や体験活動	3.4	3.4	3.3	3.3	3.2	3.2	3.0	3.0	3.0
	9	夢や希望を促す取組	3.4	3.3	3.3	3.2	3.1	3.2	2.8	2.9	2.9
	10	将来に向けての礼儀作法やマナー指導	3.3	3.4	3.3	3.4	3.4	3.4	2.8	2.8	2.9
学力の向上について	11	授業の「めあて」の提示	3.5	3.1	3.2	3.5	3.5	3.6			
	12	授業の「まとめ」「振り返り」の場の設定	3.3	3.1	3.1	3.2	3.3	3.3			
	13	授業の見通しの提示				3.3	3.5	3.4			
	14	わかりやすい言葉やICTの活用	3.3	3.1	3.1	3.3	3.4	3.4			
	15	思考・グループ活動の場の設定	3.4	3.3	3.1	3.4	3.6	3.6			
	16	自主学習ノートの取組				3.2	3.3	3.1			
	17	「きくこと」を意識した授業参加				3.3	3.4	3.4			
	18	身につけさせたい学力の明示	3.4	3.3	3.1				2.8	2.9	2.9
	19	学力向上のための取組の明示							3.0	3.0	2.9
	20	学力向上のための家庭・小学校との連携	2.9	2.9	2.9						
	21	学力向上にかかるデータの活用	3.4	3.4	3.3						
	22	家庭学習の仕方の提示							2.8	2.9	2.9
	一人一人を大切に する指導について	23	「小野中スマホルール」の遵守				3.1	3.2	3.1	2.6	2.6
24		一人一人への観察				3.2	3.4	3.3			
25		不安や悩みの理解	3.5	3.2	3.3	3.2	3.3	3.3	3.1	3.0	3.0
26		性格や特性にあった指導	3.4	3.3	3.3	3.1	3.1	3.2	3.0	3.1	3.1
27		ほめて認める指導	3.4	3.4	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.2
28		教職員・家庭との情報の共有	3.6	3.6	3.6						
29		家庭での会話							3.2	3.2	3.1
30		いじめ防止基本方針の明示、理解	3.4	3.5	3.4				3.0	3.0	3.1
31		いじめの早期発見	3.6	3.6	3.4	3.3	3.2	3.4	2.9	2.9	3.0
いじめ防止について	32	いじめを許さない雰囲気	3.2	3.1	3.3	3.0	3.0	3.1	2.8	2.9	2.8
	33	いじめ対応への理解	3.4	3.5	3.6						
	34	いじめへの発言や行動				3.3	3.3	3.3			
	35	いじめ防止のための環境、相談窓口				3.4	3.3	3.3	2.9	3.0	3.1
	36	自主的な生徒会活動	3.4	3.2	3.1	3.6	3.5	3.5			
生徒会活動について	37	積極的なボランティア活動	3.6	3.4	3.3	3.5	3.2	3.4	3.3	3.2	3.2
	38	生徒会活動による責任感の伸長	3.6	3.3	3.2				3.4	3.3	3.4
	39	人権尊重やいじめ根絶にかかる活動	3.6	3.4	3.3	3.5	3.4	3.6			
	40	生徒会活動による協調性の伸長	3.6	3.3	3.2				3.2	3.1	3.2
	41	生徒会活動への積極的参加				3.4	3.3	3.4	3.3	3.2	3.3

3. 学力の向上について

評価の目標値としてはおおむね良好であるが、教職員の評価が全体的に低下している。生徒の評価はおおむね良好であるが、小野中学校としての学力向上の目標や取組内容の保護者への啓発が不十分だと思われる。⇒(改善に向けて)○「めあて」の提示、共有はもちろん、ICT活用や生徒の活動による思考力を深める授業展開を工夫していく必要がある。○1, 2同様に、子どもの育成を学校教育だけで担うのではなく、目標やねらいを保護者や地域と共有し連携して育てていくことが重要である。

4. 一人一人を大切に する指導について

昨年度及び第1回と同程度の評価で全体的に3以上とおおむね良好であるが、目標値3.2(80%)以上を目指す。⇒(改善に向けて)○日常の授業や諸活動、休み時間等での観察や交流、担任とのやりとり帳、毎月の生活アンケート等から、生徒の悩みや困り感に気づき、時機を逃さない指導、支援を行う。これらを通して、生徒、保護者、教師の信頼関係を継続する。

5. いじめ防止について

昨年度及び第1回と同程度の評価で全体としてはおおむね良好であるが、保護者の中には評価1という回答もあるため、全員が納得し安心できる学校の雰囲気をつくる必要がある。⇒(改善に向けて)○「一人一人を大切に
する指導」を心がけ、年間を通して人権尊重の精神を根付かせるために、人権集会、平和集会、生徒会活動等での全校での取組や学年、学級レベルでのさまざまな機会を捉えて人権教育を展開する。

6. 生徒会活動について

目標値の3.2(80%)としては、おおむね達成しており、生徒、保護者の評価は昨年度及び1回目と同程度か向上している項目が多い。ただし、教師の評価としては昨年度や1回目と比較して下がっている。⇒(改善に向けて)○昨年度まで県指定研究「地域学習」「地区生徒会活動」で地域貢献等に取り組んできた活動を持続可能なものとし、教師や生徒に浸透させる。また、生徒会が主体的かつ継続的に活動できるよう、学校、教師側からの助言・支援が必要である。

1. 地域とのかわりについて

昨年度までの2年間は地域学習の県指定研究で関心が高まっていたと思われるが、昨年度と比較すると評価が下がっている項目が多い。

⇒(改善に向けて)これまでの地域学習の成果を踏まえつつ、地域や家庭と目指す子どもの姿や地域の姿を共有し、地域の中の学校、地域に育てられている生徒ということ浸透させる。

2. 生き方の学習について

ほぼ昨年度及び第1回と同じ評価であるが、目標値3.2(80%)以上という点では、「9」(夢や希望を促す取組)「10」(将来に向けての礼儀作法やマナー指導)の保護者の評価向上を目指す。

⇒(改善に向けて)将来の夢や希望を抱かせる学習活動と礼儀やマナーについての指導を関連付けながら継続的に実施し、学習発表や授業参観、学校便り、学校ホームページ等で生徒の学習活動の様子や変容等について保護者や地域に発信していく。